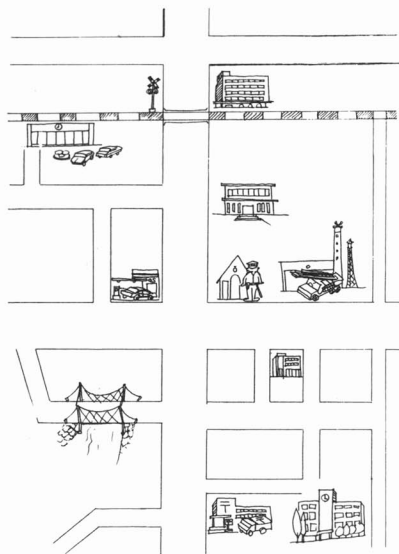


② 展開

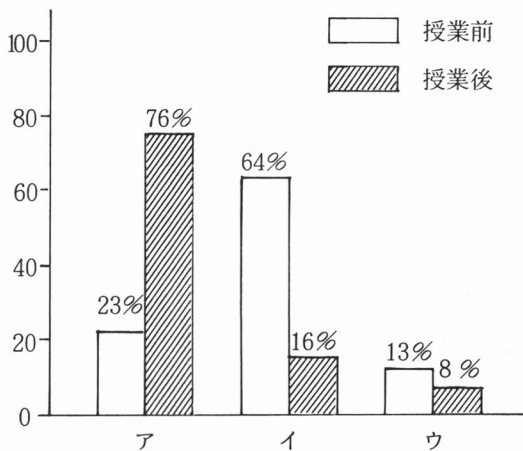
段階	学 習 活 動 ・ 内 容	時間	指 導 上 の 留 意 点
展開	3. 道案内の対話を考え練習する ○ 役割分担 (日本人-外国人) ○ 「場所」の決定 ○ 「目的地」の決定 ○ 対話づくり ○ ペアでの練習	15'	○ 自分たちの住んでいる地域の略地図 (注参照) により, 対話を考えさせる。 ○ 未習得語句でも, 机間巡視により援助指導を行う。 ○ 具体的指示により, できるだけ自主的に活動させる。 ○ 対話に変化を与えるため, 場所や相手を工夫させ, また役割を交替して練習させる。
	4. 自分たちの作った対話文を発表し合う	25'	○ 2~3 ペア発表の後, 再び練習時間をとる。 ○ 発表の時には, 練習をやめさせ聞くことに集中させる。 ・ 黒板にプリント同じ略地図を描いておく。

(注) 地域の略地図



あなたは、外人に英語で道をたずねられた時どうしますか

- (ア) 返事するつもりで聞く
- (イ) 聞くだけは聞く
- (ウ) その場から立ち去る



(4) 指導を終えて

一般に、発表学習は、学年が進むにつれ好まれなくなってくる。しかし、今回の授業においては、指名されずに自ら発表したペアが大部分であった。

次の図は、授業前と授業後に行ったアンケートの一部である。

76%の生徒が積極的に「英語で道案内をしよう」という反応を示していた。これは、発表活動に取り組んで得た自信のあらわれであると考えたい。